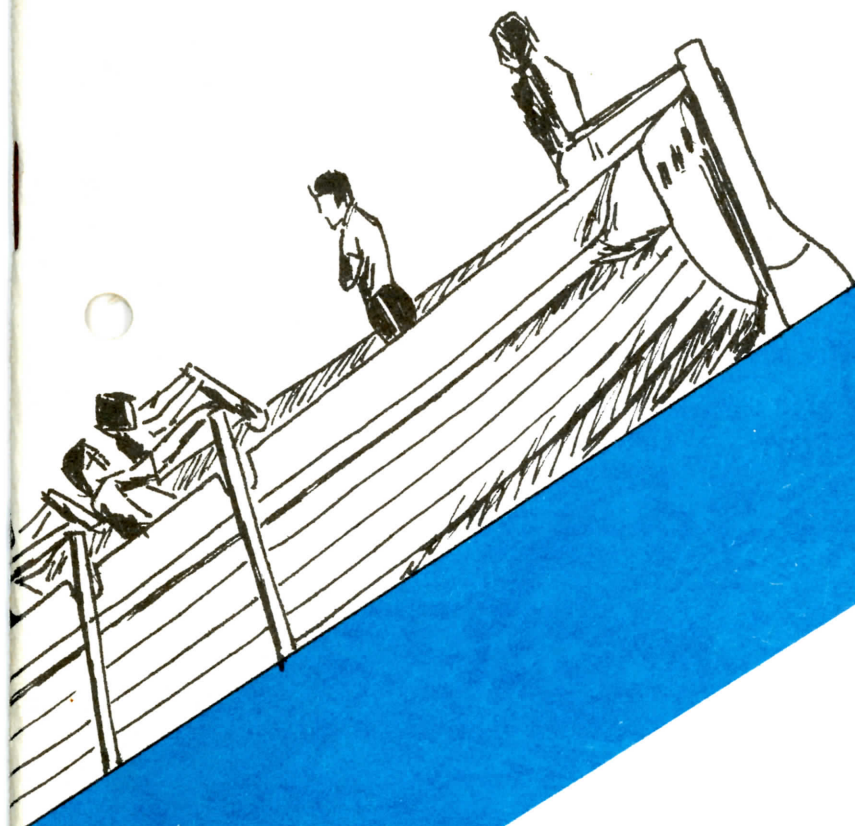


第22回

全日本カッター 競技大会



日時 昭和53年 5 月21日(日)
0900～1550
(雨天決行)

場所 海上保安大学校沖海面
主催 全日本カッター連盟
主管 海上保安大学校
後援 N. H. K
デイリースポーツ新聞社
呉市教育委員会

第 22 回 全日本カッター競技大会

主 催 全日本カッター連盟

主 管 海上保安大学校

後 援 N. H. K
ディリースポーツ
呉市教育委員会

日 時 昭和53年5月21日（日曜日）
午前9時から午後4時まで
（雨天決行）

会 場 海上保安大学校沖海面

参 加 校	海 技 大 学 校	東 京 商 船 大 学
	鹿 児 島 大 学	東 京 水 産 大 学
	神 奈 川 歯 科 大 学	長 崎 大 学
	神 戸 商 船 大 学	防 衛 大 学 校
	水 産 大 学 校	三 重 大 学
	電 気 通 信 大 学	海 上 保 安 大 学 校
	東 海 大 学	

会 議 日 程

主 将 会 議

日 時 5月20日(土) 14:00

場 所 第一会議室

出席者 参加各校主将及び主務

連 盟 会 議

日 時 5月21日(日) 大会終了後

場 所 第一会議室

出席者 各校顧問教官及び代表学生

第 22 回 全日本カッター



競技大会を迎えて

海上保安大学校長 横 山 禅 一

若葉薫るこの季節に、全国の海事関係大学のご参加を得て、第22回全日本カッター競技大会を呉の一角において開催する運びとなりましたことは、誠に喜びにたえません。

新しい海洋秩序の時代を迎え、国民の海に対する関心が一段と高まっているこの時、全国海事関係大学の学生諸君が、海の男の伝統的なカッター競技において闘魂をかたむけ平素の鍛練の成果を競い合うことは、時節柄誠に意義深いものがあります。

諸君が、本大会を通じて、互いの友情を深め、将来、海を通じてわが国の発展に寄与されることを祈ってやみません。

おわりに、本大会の開催に寄せられました関係各位の御援助と、御好意に対し、深甚の謝意を表します。

昭和53年 5 月

***** 大 会 役 員 *****

会 長	海上保安大学校	校 長	横 山 禅 一
副 会 長	海上保安大学校	教 頭	重 川 亘
審 判 長	海上保安大学校	訓練部長	土 屋 彬
顧 問	海 技 大 学 校	長 畑 司	
	鹿 児 島 大 学	松 野 保 久	
	神奈川歯科大学	横 田 ・ 佐 藤	
	神 戸 商 船 大 学	奥 村 宗 行	
	水 産 大 学 校	橋 本 市 雄	
	電 気 通 信 大 学	松 岡 籟 之	
	東 海 大 学	佐 藤 治 夫	
	東 京 商 船 大 学	中 嶋 保 司	
	東 京 水 産 大 学	柳 川 三 郎	
	長 崎 大 学	柴 田 恵 司	
	防 衛 大 学 校	清 末 純 博	
	三 重 大 学	関 口 秀 夫	
	海上保安大学校	津 田 孝 則	

実 行 委 員

実 行 委 員 長	土 屋 彬
実 行 委 員	島 健 次
実 行 委 員	児 玉 毅
実 行 委 員	小 林 也 竣

学 生 実 行 委 員

金 安 宏 二	張 間 施 門
滝 良 伸	堀 部 健 二
松 本 宏 之	小 林 正 幸
加賀谷 尚 之	遠 藤 和 幸
菊 井 大 蔵	宮 崎 章 次
小 泉 悦 次 郎	野 見 山 慎 吾
浜 中 崇 弘	中 川 高 史

ク ル 一 名 簿

海 技 大 学 校

顧 問 長 畑 司

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	金子 収 二	機関 1	170	65		岩手
主 務	吉 本 正 人	// 1	170	55		島根
艇指揮	横 江 真 一	// 1	170	60		宮城
艇 長	中 村 伸 幸	// 1	165	55		東京
1	鈴木 正 志	航海 1	170	65		岩手
2	森 上 英 典	機関 1	170	65		香川
3	岡 村 信 二	航海 1	170	65		山口
4	金 子 収 二	機関 1	170	65		岩手
5	森 田 卓 郎	航海 1	170	65		長崎
6	松 尾 恵	// 1	165	60		長崎
7	野 並 善 博	// 1	175	75		高知
8	石 原 準 一	機関 1	175	70		岡山
9	浜 道 功	// 1	178	70		青森
10	遠 藤 正 治	航海 1	175	65		宮城
11	西 浩 二	// 1	175	65		鹿児島
12	島 山 幸 男	// 1	175	75		宮城
補	浅 田 誠	機関 1	170	63		愛媛
//	薮 田 忠 男	// 1	170	70		岡山

鹿 児 島 大 学

顧 問 松 野 保 久

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	佐 藤 久 哉	生産 3	172	72	加茂水産	山形
主 務	松 本 修 一	水産 2	169	65	鹿 屋	鹿児島
艇指揮	笹 田 博	資源 3	170	62	四条畷	大阪
艇 長	国 枝 俊 一	環境 3	167	58	光 陵	神奈川
1	橋 本 正 義	食糧 3	167	68	高 槻	大阪
2	島 崎 裕	航海 3	165	60	魚 津	富山
3	島 村 孝一郎	資源 3	174	65	玉 名	熊本
4	嶋 元 隆 司	水産 2	178	74	鹿児島中央	鹿児島
5	橘 井 猛	生産 3	165	55	宇和島水産	愛媛
6	稲 尾 賢 一	航海 3	177	65	熊本水産	熊本
7	朽 見 健一郎	生産 3	177	70	枚 方	大阪
8	佐 藤 久 哉	// 3	172	72	加茂水産	山形
9	山 中 有 一	航海 3	174	68	武 蔵	東京
10	高 田 敏 幸	// 3	177	67	大牟田北	福岡
11	米 田 幸 孝	生物 3	165	55	大 島	鹿児島
12	田井村 健 次	航海 3	167	63	鹿 屋	鹿児島
補	畔 野 尚 史	生物 3	168	68	八 幡	福岡
//	猪 猪 奥 繁	増殖 3	176	67	千 里	大阪
//	杉 本 靖	環境 3	176	68	戸 畑	福岡

神奈川歯科大学

顧問 横田・佐藤

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	山 本 一 人	歯 4	166	65	笠 岡	岡山
主 務	小見山 勇 蔵	〃 4	172	65	笠 岡	岡山
艇指揮	山 本 一 人	〃 4	166	65	笠 岡	岡山
艇 長	板 倉 茂 行	〃 5	165	54	松江北	島根
1	青 木 宏 和	〃 3	172	70	厚 木	神奈川
2	河 合 茂 樹	〃 3	167	65	成 章	愛知
3	岡 本 豪	〃 2	178	61	修 道	広島
4	山 田 弘 倫	〃 2	170	68	延岡西	宮崎
5	小見山 勇 蔵	〃 4	172	65	笠 岡	岡山
6	恵 谷 潤 三	〃 3	175	70	金光学園	岡山
7	金 坂 親 司	〃 4	174	68	長 生	千葉
8	篠 塚 嘉 昭	〃 3	178	66	京北学園	東京
9	間 宮 靖	〃 2	172	60	小田原	神奈川
10	鈴 木 信 義	〃 3	185	70	福島北	福島
11	斉 藤 英 二	〃 4	182	71	延岡西	宮崎
12	加 藤 克 輔	〃 4	170	65	日本学園	東京

神戸商船大学

顧問 奥村宗行

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	藤 本 純 二	航海 4	176	65	北 条	兵庫
主 務	堤 盛 保	原子動力 4	174	63	宇治山田	三重
艇指揮	藤 本 純 二	航海 4	176	65	北 条	兵庫
艇 長	岡 田 泰 和	〃 4	164	56	岡山大安寺	岡山
1	森 崎 賢 一	原子動力 4	160	59	竜 野	兵庫
2	戎 本 範 成	〃 3	175	70	萩	山口
3	田 中 清 美	〃 3	170	62	畝 傍	奈良
4	楠 生 恒	航海 4	168	58	高 津	大阪
5	矢 野 吉 治	〃 4	171	67	高 田	大分
6	中 馬 幸 蔵	〃 4	166	68	出 水	鹿児島
7	藤 永 孝	〃 3	168	69	富士森	東京
8	季 光 秀	〃 3	176	72	明 星	大阪
9	山 本 隆 道	機関 2	173	58	萩	山口
10	布 施 正 人	原子動力 2	176	62	虎 姫	滋賀
11	池 間 満 雄	航海 3	172	64	三国ヶ丘	大阪
12	吉 田 裕 彦	〃 4	163	52	登美丘	大阪
補	益 原 威 司	〃 4	169	62	市 岡	大阪
〃	片 山 哲 三	〃 4	163	55	三 島	大阪
〃	森 本 恭 昭	〃 4	174	66	追手門学院	大阪
〃	大 島 忠 且	〃 3	170	63	筑紫丘	福岡

ク ル ー 名 簿

水 産 大 学 校

顧問 橋 本 市 雄

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	相 原 正 則	機関 3	173	73	サレジオ	神奈川県
主 務	青 木 靖	漁業 3	176	65	江戸川	東京
艇指揮	穴 戸 隆 司	機関 3	180	71	豊多摩	東京
艇 長	堤 義 明	// 2	175	70	明 善	福岡
1	大久保 寛	製造 2	171	62	三原東	広島
2	阪 上 春 彦	機関 3	166	61	堺市立工業	大阪
3	清 原 通 也	増殖 3	171	69	崇 徳	広島
4	柳 沢 利 政	漁業 3	167	69	蔵	埼玉
5	柴 田 紀 彦	// 3	180	72	昭 和	東京
6	井 上 治 久	製造 2	176	67	姫路南	兵庫
7	高 野 雅 樹	機関 3	178	73	東 郷	愛知
8	相 原 正 則	// 3	173	73	サレジオ	神奈川県
9	稲 井 邦 夫	漁業 2	177	70	大 東	大阪
10	土 谷 憲 也	機関 2	176	74	高 田	大分
11	宮 浦 淳	増殖 3	177	69	四条畷	大阪
12	松 岡 重 継	機関 3	172	65	亀 山	三重
補	川 北 敏 雄	漁業 2	172	55	東住吉	大阪
補	岩 本 明 寿	増殖 2	177	72	福山葦陽	広島
補	田 中 三 重	// 2	173	60	隠 岐	島根
補	津 田 莊太郎	製造 2	166	66	岩 国	山口

電 気 通 信 大 学

顧問 松 岡 籟 之

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	鈴 木 茂 尋	電波通信 3	170	59	攻玉社	東京
主 務	川 島 英 隆	通信工学 2	183	80	洛陽工	京都
艇指揮	鈴 木 茂 尋	電波通信 3	170	59	攻玉社	東京
艇 長	弓 田 長 政	// 4	170	67	田 島	福島
1	尾 形 敏	通信機械 3	175	60	気仙沼水産	宮城
2	芳 賀 輝 夫	電波通信 3	173	59	宮城水産	宮城
3	山 本 良 衛	// 3	167	60	三崎水産	神奈川県
4	木 下 智 博	// 3	169	58	大島南	東京
5	小 暮 武 史	電子工学 3	167	58	太 田	群馬
6	中 雄 治	電波通信 2	173	61	日 高	和歌山
7	田 倉 正 尚	通信工学 2	167	55	福 生	東京
8	石 渡 憲 一	電子工学 2	175	61	鷺 宮	東京
9	佐 藤 信 之	電波通信 4	168	66	宮城水産	宮城
10	川 島 英 隆	通信工学 2	183	80	洛陽工	京都
11	小川原 均	通信専攻 1	173	68	羽 幌	北海道
12	和 田 泰 夫	電波通信 2	180	68	長野工	長野
補	菊 地 昭 治	// 4	168	65	由利工	秋田
補	高 頭 征 之	通信専攻 1	167	66	函館東	北海道

東 海 大 学

顧問 佐藤 治 夫

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	後 藤 大 輔	海洋工学 4	173	68	名大附属	愛知
主 務	田 村 壽 伸	航海工学 4	170	80	早稲田	東京
艇指揮	阿久津 秀 夫	〃 4	171	68	都立駒場	東京
艇 長	山 西 恒 義	海洋工学 3	170	65	麻 布	東京
1	南 波 聡	海洋土木工学 3	162	53	横浜立野	神奈川
2	鈴 木 文 哉	船舶工学 3	162	65	高 輪	東京
3	狩 野 安 徳	水産開発 3	180	72	宮 津	京都
4	松 本 光 生	航海工学 3	162	62	芝浦工大附属	東京
5	田 村 壽 伸	〃 4	170	80	早稲田	東京
6	花 田 泰 利	海洋土木工学 4	173	75	東海大五	福岡
7	後 藤 大 輔	海洋工学 4	173	68	名大附属	愛知
8	小 野 隆 義	航海工学 4	176	63	聖光学園	静岡
9	増 島 宏 明	〃 3	173	65	成 城	東京
10	舟 橋 直 登	海洋土木工学 4	172	65	津 島	愛知
11	河原木 一	航海工学 4	170	60	東海大附属	神奈川
12	俣 野 正 弘	船舶工学 3	168	70	佐 倉	千葉
補	松 崎 友 治	航海工学 4	174	63	東海大附属	東京
〃	倉 垣 秀 基	〃 4	168	57	筑上中部	福岡
〃	新 中 義 男	〃 4	175	54	市立舟入	広島
〃	内 川 育 也	海洋工学 4	176	67	鳥取西	鳥取

東 京 商 船 大 学

顧問 中 嶋 保 司

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	中 井 武	航海 4	171	69	三国ヶ丘	大阪
主 務	塚 本 浩 三	〃 4	169	68	岐 山	岐阜
艇指揮	塚 本 浩 三	〃 4	169	68	岐 山	岐阜
艇 長	泉 野 泰 良	〃 2	172	67	湘南学園	神奈川
1	神 戸 候 明	〃 2	169	63	富 岡	群馬
2	根 本 正 昭	〃 2	174	65	富 士	東京
3	細 越 敬 一郎	〃 3	173	66	八戸北	青森
4	中 井 武	〃 4	171	69	三国ヶ丘	大阪
5	山 岸 昭 人	機関 4	176	75	札幌南	北海道
6	田 村 卓	航海 4	175	67	大 宮	宮崎
7	石 本 明 生	機関 4	172	72	木 本	三重
8	中 村 重 孝	〃 3	178	70	鳥羽商船高専	三重
9	田 中 英 司	航海 4	168	62	長 生	千葉
10	堂 坂 裕 孝	〃 2	172	75	独 協	東京
11	山 本 信 良	機関 4	165	63	田園調布	東京
12	玉 井 猛	〃 3	175	65	富 岡	群馬
補	岩 本 直 人	航海 3	178	75	上 野	東京

東京水産大学

顧問 柳 川 三 郎

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	永 田 司	海洋 4	169	66	酒田東	山形
主 務	中 村 等	〃 4	173	69	青 森	青森
艇指揮	永 田 司	〃 4	169	66	酒田東	山形
艇 長	林 泰 夫	漁業 4	165	56	東 邦	愛知
1	菅 原 敬	〃 3	170	62	仙台第二	宮城
2	橋 本 昇	〃 4	165	61	杉 並	東京
3	八 谷 靖 明	〃 3	172	67	宝 塚	兵庫
4	森 一 郎	海洋 2	168	60	東 海	愛知
5	木 原 修	漁業 2	171	67	大 嶺	山口
6	福 沢 博 司	〃 3	175	70	福 岡	福岡
7	中 村 等	海洋 4	173	69	青 森	青森
8	和 田 裕 之	〃 2	180	85	日立第一	茨城
9	高 橋 直 之	漁業 3	174	63	小石川	東京
10	鈴 木 寛 文	〃 3	170	67	滝 川	北海道
11	大 山 茂	増殖 4	171	63	浦和西	埼玉
12	長 田 芳 穂	海洋 3	168	60	桜 丘	神奈川
補	谷 内 修	増殖 2	175	62	向 陽	和歌山
〃	今 原 与 一	食品 2	169	61	延 岡	宮崎
〃	増 谷 龍一郎	漁業 2	174	56	境	鳥取
〃	大 関 芳 冲	増殖 2	180	73	久留米	東京

長 崎 大 学

顧問 柴 田 恵 司

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	堀 川 浩 司	海洋開発 3	171	65	東住吉	大阪
主 務	高 橋 勝 宏	海洋生産 3	171	65	郡 山	奈良
艇指揮	吉 丸 友 裕	海洋開発 2	167	54	長崎西	長崎
艇 長	真 野 欽 也	海洋生産 3	163	58	三谷水産	愛知
1	松 尾 節 夫	海洋開発 2	170	61	長崎北	長崎
2	藤 森 弘 之	〃 2	168	67	桐 蔭	和歌山
3	本 田 勇 二	〃 2	167	60	玉 名	熊本
4	沓 野 浩 誠	商技コース 3	171	65	鹿 本	熊本
5	安 楽 力	食糧科学 3	170	60	錦江湾	鹿児島
6	高 橋 勝 宏	海洋生産 3	171	65	郡 山	奈良
7	堀 川 浩 司	海洋開発 3	171	65	東住吉	大阪
8	岩 政 陽 夫	〃 3	177	72	柳 井	山口
9	熊 木 敏 也	〃 2	174	61	松山北	愛媛
10	茨 木 義 之	食糧科学 2	170	68	小 倉	福岡
11	緒 方 誠 治	〃 3	166	63	長崎東	長崎
12	山 本 重 人	海洋開発 2	171	56	長崎南	長崎
補	石 橋 哲 二	〃 2	174	61	長崎南	長崎
〃	吉 本 澄 哉	〃 2	165	65	熊本水産	熊本
〃	豊 田 瑞 彬	〃 2	167	65	姫路西	兵庫

ク ル ー 名 簿

防 衛 大 学 校

顧 問 清 末 純 博

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	高 橋 満 人	電気 4	178	70	新 津	新潟
主 務	飯 田 隆 一	〃 4	168	57	八 幡	福岡
艇指揮	堀 憲 之	航空工 4	176	62	東工大附属	東京
艇 長	前 田 秀 一	電気 4	166	60	大 和	神奈川
1	小 原 慎 久	機械 3	169	67	花巻北	岩手
2	中 田 芳 基	航空工 3	172	59	呉	広島
3	中 川 孝 彦	電気 4	169	69	池 田	徳島
4	近 藤 日出男	航空工 3	172	68	西大寺	岡山
5	米 谷 哲 司	電気 3	179	77	神 戸	兵庫
6	宮 内 由 幸	〃 3	176	71	宮 原	広島
7	菅 原 光 彦	〃 3	188	86	仙台第二	宮城
8	高 橋 満 人	〃 4	178	70	新 津	新潟
9	藤 井 一 隆	機械 3	177	71	札幌南	北海道
10	小 梅 三津男	〃 3	177	74	函館ラサール	北海道
11	浦 井 申 司	〃 4	167	60	白 河	福島
12	山 下 智 史	国際関係論 4	173	67	矢 部	熊本
補	石 塚 達 也	機械 3	171	63	札幌西	北海道
〃	川 本 祐 嗣	管理学 2				
〃	山 田 耕 治	電気 2				
〃	岩 崎 正 人	機械 2				

三 重 大 学

顧 問 関 口 秀 夫

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	一 岡 衛	増殖 3	170	65	池 田	大阪
主 務	宮 田 博	工学部 2	176	67	尾 北	愛知
艇指揮	中 元 章 博	海洋生産 4	173	68	寝屋川	大阪
艇 長	玉 田 晴 久	〃 4	170	65	天王寺	大阪
1	西 條 徹	工学部 4	175	65	東 郷	愛知
2	渡 辺 隆	〃 4	170	62	膳 所	滋賀
3	上 田 省 三	海洋生産 3	173	63	明 星	大阪
4	宮 田 博	工学部 2	176	67	尾 北	愛知
5	井 狩 康 宏	海洋生産 4	175	67	洛 東	京都
6	岡 本 安 弘	〃 2	171	66	奈 良	奈良
7	岩 本 輝 一	〃 2	181	68	芦 屋	兵庫
8	一 岡 衛	増殖 3	170	65	池 田	大阪
9	内 田 享	工学部 2	170	69	岡崎北	愛知
10	渡 部 孝 之	海洋生産 2	175	67	尾 北	愛知
11	中 島 吉 晴	〃 2	173	64	堺 東	大阪
12	阿 弥 一 起	〃 3	168	59	和 泉	大阪
補	梶 村 真 盛	〃 2	170	58	市 岡	大阪

海上保安大学校

顧問 津田 孝 則

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	木 原 克 己	機関 4	182	78	薬園台	千葉
主 務	清 水 弘 昭	// 3	170	68	戸 畑	福岡
艇指揮	長 嶋 貞 暁	// 4	160	60	筑紫中央	福岡
艇 長	鈴 木 敏 弘	通信工学 3	169	65	石 巻	宮城
1	井 手 淳二郎	航海 3	174	64	筑紫中央	福岡
2	赤 津 洋 一	// 3	170	58	本 庄	埼玉
3	井 上 雅 英	機関 3	176	68	久留米大学附設	福岡
4	佐 藤 清 隆	航海 3	172	65	福 島	福島
5	吉 竹 孝 仁	— 2	175	76	戸 畑	福岡
6	神 原 昌 彦	— 2	181	73	三原工業	広島
7	木 原 克 己	機関 4	182	78	薬園台	千葉
8	坂 栄 雅 之	通信工学 4	180	75	松江北	島根
9	長谷川 義 明	航海 3	180	74	多 摩	神奈川
10	宮 尾 努	// 3	174	69	広島基町	広島
11	山 本 得 雄	— 2	183	78	吉 田	広島
12	加 納 恵 二	— 1	167	65	宮崎西	宮崎

レースの手引

本大会に使用される艇は長さ9m12人漕ぎのカッターである。救命艇として使用されるものであるが一般のそれは艀艀同型であるのに対し、艇を切落して外観は普通の舟艇と変わらない。外板鐵張りの木製で、オール12本（各々長さ約4.3m、握りの直径76cm、重さ10乃至15kgである）マスト、セール等の艀装品を備え帆走も可能である。漕手はCrewと呼ばれ、艇尾より艇首に向かって舶右側の者が1番、同じく左側の者が2番、以下交互に3・4～11・12番と続き、1、2番をBowmen、11、12番をStrokemenと称している。Strokemenは撓漕のピッチを加減する任務を持つ。艇尾で舵を握るのが艇長で指揮号令をかけ指揮するのが艇指揮である。艇指揮は艇のすべての指揮を行い船長に相当する。

レース距離は折返し2000mの直線コースで行なう。各艇の艇首が一直線に並んだ時、号砲の信号を以ってスタートし、スタートラインより1000mの所に設置された各コース毎の回頭旗を、艇をこれに接触させずに左回り（反時計回り）に回頭して帰ってくる。即ちスタートラインがそのままゴールラインでゴールは艇首がゴールラインに達した時とする。予選は各グループ4又は5チームで実施する。

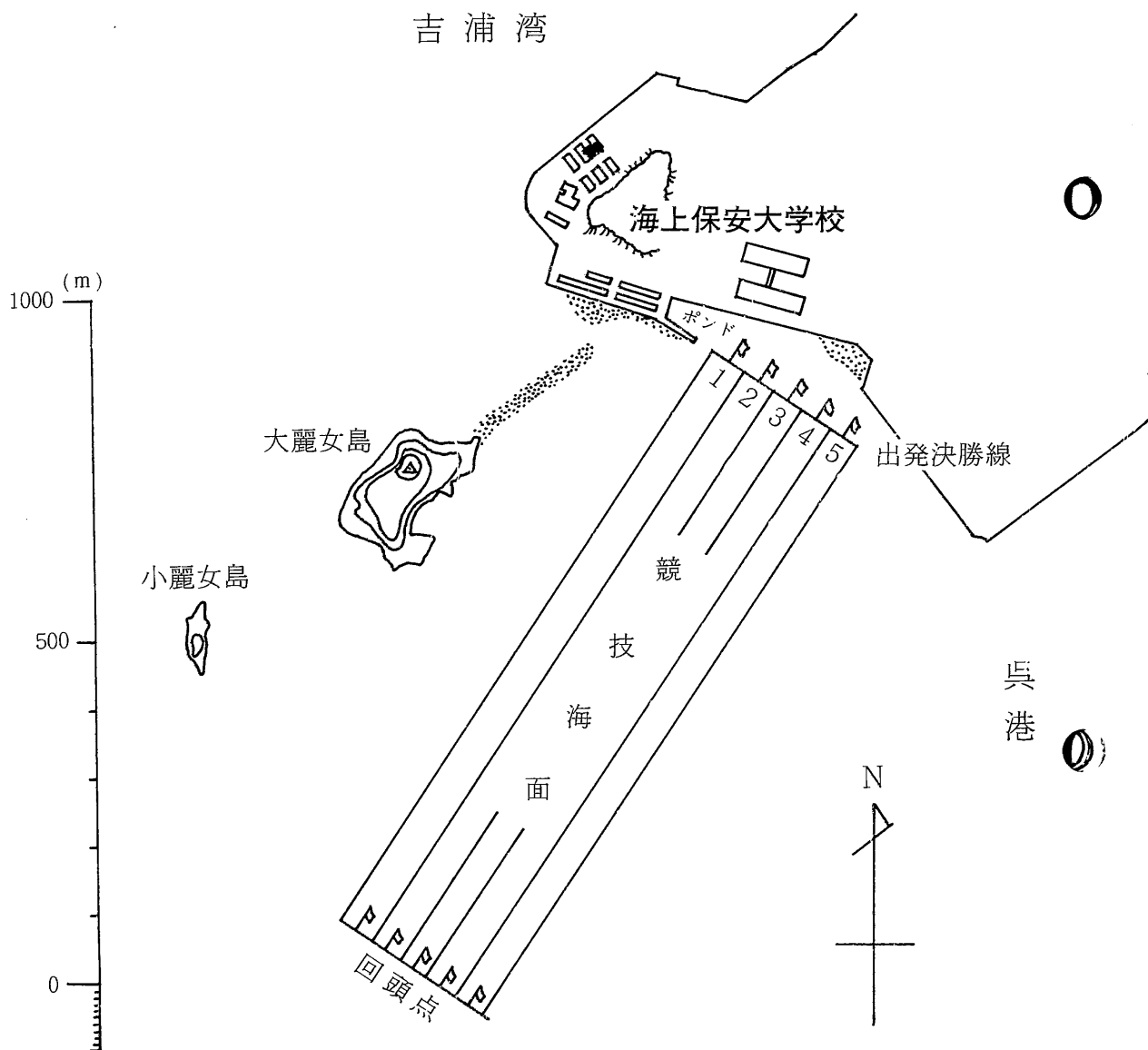
各グループの優勝チーム及び敗者復活戦で1位及び2位となった計5チームによって最後に優勝戦が行なわれる。レースはいづれも時間的ずれによる海況の変化等の影響のためにタイムレースでなく着順位である。ピーチ（1分間に漕ぐ回数）は大体30前後であるが各チームとも漕法の研究を重ねているので必ずしも一定ではなくそれぞれ特色のある漕法によるピッチを持っている。レース所要時間は10分余であるが、しかし救命艇という性質上、いかなる荒海でもレースは行なわれ、そのような場合には30分にも及ぶことがある。カッターレースは10分余の間、一瞬といえども息を抜くことを許されず、しかもクルー全員の呼吸が完全に一致しなければならない。レースの見所は、ピッチをいくらに定めるか、スタートダッシュ、回頭、ラストスパートの巧拙、風浪、海潮流の対策、利用の巧拙等たゆまぬ練習、シマンシップを完全に身につけた者が初めて克服できる実技を兼ねた、最も豪快な海のスポーツである。

審判規則

- 1 使用艇、オール及びコースはレースの都度抽選により決定する。
- 2 スタート
 - (1) 各艇は指定の時効、コース順に従い、スタートラインに整列する。
 - (2) 5分前をマイクにより通達スタートブイにつく。ブイにつき用意が完了したら艇長は陸上の審判員に手を挙げて合図する。
 - (3) スタート用意：号笛短声連続、手旗2原画、号笛長一声手旗頭上より一回転する。
 - (4) スタート：頭上の手旗を垂直に振下すと同時に号砲を打つ。
- 3 審判長、審判員がスタートを不完全と認めたときは直ちにレースを中止せしめ、スタートラインに呼び返す。

諸信号、審判艇コース横断。
- 4 スタートにおける号令前の飛び出し及び艇の事故によるスタートの遅速等は2回で失格である。
- 5 回頭は左回頭とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし、他の回頭旗を回頭した場合及び回転旗に艇またはオールの一部でも接触した場合は失格である。
- 6 ゴール：艇首が規定のゴールラインに入った順序をもって順位とし順序は審判員が判定する。
- 7 同着の場合は追込艇の勝とする。
- 8 ゴールイン時のスタートブイタッチは失格としない。
- 9 各艇は自己のコースを航行しもしこれを誤って他の艇に接触その他不正行為があったと審判員の認めたときには失格とする。
- 10 レース中のコースにおける障害、自艇の故障等は他艇の不正な接触を除く他各艇自らこれを忍ぶべきものとする。しかし審判長の判断によりこの限りでないときもある。
- 11 レースに関する異議申立等はすみやかに艇指揮がこれを行い、審判長が裁決する。
- 12 オールは予備2本を積み自由に使用してよい。
- 13 補欠は2名以内自由に交替できる。
- 14 オールは流したままゴールインしてよい。

会場略図



過 去 の 成 績

回	年月日	場 所	参加校	優 勝	2 位	3 位
1	32.6.23	東 京	8	東京水産大学	東京商船大学	神戸商船大学
2	33.5.25	神 戸	10	東京水産大学	水産大学校	東京商船大学
3	34.6.7	呉	11	水産大学校	海上保安大学校	東京水産大学
4	35.6.15	横須賀	10	神戸商船大学	水産大学校	海上保安大学校
5	36.5.28	神 戸	11	東京水産大学	水産大学校	三重大学
6	37.5.27	館 山	10	東京商船大学	防衛大学校	水産大学校
7	38.5.19	呉	11	東京水産大学	海上保安大学校	神戸商船大学
8	39.5.10	館 山	11	神戸商船大学	海上保安大学校	東京商船大学
9	40.5.16	神 戸	11	神戸商船大学	防衛大学校	水産大学校
10	41.5.15	横須賀	11	海上保安大学校	防衛大学校	三重大学
11	42.5.14	呉	11	防衛大学校	海上保安大学校	三重大学
12	43.5.19	館 山	11	防衛大学校	神戸商船大学	海上保安大学校
13	44.5.23	呉	9	防衛大学校	東京商船大学	海上保安大学校
14	45.5.17	館 山	12	防衛大学校	長崎大学	海上保安大学校
15	46.5.16	神 戸	12	防衛大学校	神戸商船大学	鹿児島大学
16	47.5.21	横須賀	13	防衛大学校	海上保安大学校	神戸商船大学
17	48.5.20	呉	12	海上保安大学校	東京水産大学	東京商船大学
18	49.5.11	館 山	13	長崎大学	海上保安大学校	水産大学校
19	50.5.18	館 山	12	神戸商船大学	防衛大学校	東京水産大学
20	51.5.16	神 戸	13	神戸商船大学	長崎大学	東京水産大学
21	52.5.29	横須賀	14	海上保安大学校	神戸商船大学	防衛大学校

天候

風向

風速

波浪

時 刻	種 目	コース	校 名	艇	着 順	タ イ ム
0900	開	会	式			
1000 1010	予選第1レース	1	長崎大	4	2	11-34
		2	東 水	6	3	11-578
		3	智通大	1	5	13-29
		4	水 大	3	1	1119
		5	三 重	5	4	1222
1040	予選第2レース	1	早稲	6	2	12035
		2	海防	4	3	12192
		3	奈	5	4	12505
		4	神	3	1	11266
1120	予選第3レース	1	水	4	3	11558
		2	早稲	3	4	12050
		3	海防	5	1	11297
		4	防	6	2	11450
	昼	食	・	休	憩	
1330	敗者復活レース	1	水	1	3	11-577
		2	水	5	4	12-196
		3	早稲	6	5	12-211
		4	水	4	2	11-686
		5	防	3	1	11-382
1410	順位決定レース	1	早稲	5	3	12-111
		2	三	1	1	12 014
		3	水	6	5	13-125
		4	神	3	2	12-077
		5	奈	4	4	12-249
1450	決 勝 レ ー ス	1	水	6	5	11-315
		2	防	1	4	11-238
		3	水	4	2	11-121
		4	神	5	3	11-212
		5	海	3	1	11-018
1520	閉	会	式			

